

2022年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

2023/07/01 時点情報

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2022/04/20	論文(国内)	浜井浩一	「社会的絆理論と日本の治安—家族人質社会」『季刊 刑事弁護』110号(現代人文社)		連載「法律家のための犯罪学入門(48)、政策評価
2022/05/28	論文(国内)	札埜 和男=小泉 尚子	「『こころ』模擬裁判の実践的研究」『全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集』142号(全国大学国語教育学会)		
2022/05/30	論文(国内)	西本成文=石塚伸一	『続・刑事確定訴訟記録法の現代的課題』『龍谷大学社会科学研究年報』52号(龍谷大学社会科学研究所)		研究ノート、法情報・法教育
2022/06/27	論文(国内)	石塚伸一	「"犯罪人"のための葬送曲(レクイエム): 犯罪減少「亡国論」の中で」『現代思想』2022年7月号(青土社)		
2022/05/30	論文(国内)	金尚均	「SNSのいいね・シェア/ツイートの可罰性」『龍谷大学社会科学研究年報』52号(龍谷大学社会科学研究所)		
2022/6/	論文(国内)	金尚均	「判例研究 力関係を背景にしてヘイトスピーチが発せられている環境でマイクロアグレッションに晒され、ハラスメントの被害を受けた事案: フジ住宅事件・大阪高裁判決令三・一〇一八」『労働法律旬報』2010号(旬報社)		
2022/06/27	論文(国内)	牧野雅子	「『フェミサイドである』と言うことは何を意味しているのか」『現代思想』2022年7月号(青土社)		
2022/07/29	論文(国内)	古川原明子	「死刑制度をめぐる試論: 死に向かう者の尊厳は保障されているか」『龍谷法学』55巻1号(龍谷大学法学会)		
2022/07/20	論文(国内)	浜井浩一	「少年法改正による特定少年の新設と実名報道をめぐる諸問題」『季刊刑事弁護』111号(現代人文社)		連載「法律家のための犯罪学入門(49)、政策評価
2022/07	論文(国内)	古川原明子	「死刑制度をめぐる試論: 死に向かう者の尊厳は保障されているか」『龍谷法学』55巻(龍谷大学法学会)		科学鑑定
2022/07/29	論文(国内)	浜田寿美男=山田早紀	「幸徳秋水大逆事件(1911年)の研究(10): 大逆事件における供述分析: 本件判決を根拠づける被告人らの供述とその形成過程(3・完)」『龍谷法学』55巻(龍谷大学法学会)		法情報・法教育
2022/10/15	論文(国内)	札埜和男	「文学模擬裁判の可能性—文学と法と犯罪の間(はざま)から人間を考える国語教育」『全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集』143巻		
2022/10	論文	津島昌寛	「アジア犯罪学会 第12回年次大会(ACS2020)を終えて 国際学会を開催することの意義と課題」『犯罪社会学研究』47巻(日本犯罪社会学会)		
2022/11/	論文(国内)	浜井浩一	「刑罰をどう考えるか」『世界』963号(岩波書店)		
2023/01/20	論文(国内)	金尚均	【第1部 講演等記録】4. 中京大学教養教育研究院キャンパス・ハラスメント防止研修会 「マイクロアグレッションとハラスメント」『中京大学教養教育研究』32巻(中京大学教養教育研究院)		
2023/3/	論文(国内)	札埜和男	「文学模擬裁判で「なりきる」方法とプロセスの実践的研究」『国語論集』20巻(北海道教育大学釧路校国語科教育研究室)		
2023/3/	論文(国内)	札埜和男	「アメリカにおける文学模擬裁判事情について: Rendell Center による Literature-Based Mock Trials」『国語探求』2巻(国語探求研究会)		
2023/3/	論文(国内)	佐々木 大悟	「往観偈(東方偈)の構造についての一考察: 特に『無量清浄平等覚経』から」『真宗学』147号(龍谷大学真宗学会)		
2023/3/	論文(国内)	金尚均	「日本におけるヘイトクライム」『立命館法学』2022(5・6)(立命館大学法学会)		
2023/03/13	論文(国内)	札埜和男	裁判体に焦点を当てた『羅生門』文学模擬裁判の分析: 「優しい判決」の背景を探る『龍谷紀要』44巻2号(龍谷大学)		
2023/03/15	論文(国内)	金尚均	「フェイクニュースに対する法的規制の可能性」『龍谷法学』55巻4号(龍谷大学法学会)		
2023/03/18	論文(国内)	石塚伸一	「御用学者と非政府学者—君は無政府研究者か?—」『矯正講座』第42号(成文堂)		
2023/03/18	論文(国内)	古川原明子	「2022年度「矯正・保護課程」共同研究・施設参観報告_3 松山少年鑑別所・松山学園」『矯正講座』第42号(成文堂)		
2023/03/24	論文(国内)	小正浩徳=武田俊信=廣橋諒一	「法学系と臨床心理学系の横断講義が学生に与えた影響」『Ryukoku Journal of Peace and Sustainability 2022』(Research Center for Interdisciplinary Studies in Religion, Science and Humanities)		
2022/05/13	出版物(国内)	井上見淳	『「たすけたまへ」の浄土教: 三業帰命説の源泉と展開』(法蔵館)		https://www.book61.co.jp/book.php/N95910 、矯正宗教学
2022/07/18	出版物(国内)	井上善幸	「末灯鈔講述」(永田文昌堂)		https://pub.hozokan.co.jp/book/b609849.html 、矯正宗教学
2022/7/26	出版物(国内)	愛知正博(編)	『アクティブ刑事訴訟法』(法律文化社)		執筆者: 古川原明子
2022/8	出版物	Bowdler, Michelle(著)竹内要江(訳)	『レイプは本当に犯罪ですか?』		寄稿: 牧野雅子
2022/10	出版物(国内)	森田敬史=打本弘祐=山本佳世子(編著)	『宗教者は病院で何ができるのか: 非信者へのケアの諸相』(勁草書房)		
2022/11/	出版物(国内)	赤池一将=石塚伸一=齋藤司=竹内謙治(編・著)	刑事司法と社会的援助の交錯: 土井政和先生・福島至先生古稀祝賀論文集(現代人文社)		執筆者: 赤池一将、石塚伸一、古川原明子、浜井浩一
2023/2/	出版物	金尚均 編集代表、石塚伸一=齋藤司=淵口晶子=山本崇記 編著	『インターネット時代のヘイトスピーチ問題の法的・社会学的捕捉 = Legal and Sociological Understanding of Hate Speech Issues in the Internet Era』(日本評論社)		
2023/02/24	出版物(国内)	石塚伸一(編、著)	『刑事司法記録の保存と閲覧 記録公開の歴史的・学術的・社会的意義』(日本評論社)		執筆者: 石塚伸一、古川原明子、山田早紀、西本成文
2022/5/	学会報告(国内)	浜井浩一	2022年5月に、関西学院大学で開催された日本刑法学会における分科会Ⅲ「刑事政策の回顧と展望」において浜井が「矯正処遇の回顧と展望」というタイトルで日本の刑務所における矯正処遇の歴史的展開を批判的に検証した報告を行った		
2022/9/	学会報告(海外)	津島昌弘	Trust in the Police Force, Police Legitimacy, and Compliance with the Law: A Study of Japanese Teenagers(EUROCRIM2022)		
2022/9/	学会報告(海外)	石塚伸一	Research for Better Policy and Law-Making: Evaluating Needs, Diagnoses and Designs(EUROCRIM2022)		
2022/12/06	学会報告(海外)	古川原明子	Legal Analysis of Current Japanese SBS/AHT Cases (26th World Congress for Medical Law)		
2022/12/	学会報告(国内)	浜井浩一	日本更生保護学会においてテーマセッション「奈良県における再犯防止の取組み: ソーシャルファームを活用した国と地方との連携」を浜井が主宰し、奈良県における再犯防止推進計画における条例・ソーシャルファームの設立に関する研究報告		

2022年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

2023/07/01 時点情報

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2022/4/	招待講演(国内)	石塚伸一	【シンポジウム】死刑廃止を考える日—堀川恵子さん(ジャーナリスト)と石塚伸一教授(刑事法)と考える日本の死刑—(大阪弁護士会)		
2022/07/30	招待講演(国内)	牧野雅子	性暴力はどのように語られてきたのか(司法修習生フォーラム「性犯罪に関する立法論」)		
2022/10/09	招待講演(国内)	打本弘祐	「臨床宗教師とは何か」(日本統合医療学会岡山支部第6回総会・学術講演会『宗教と医学・社会福祉学を考える』～宗教者が統合医療に期待するところ～)		
2022/11/19	招待講演(海外)	津島昌寛	Male Domestic Violence on Female in Japan: Why Victims Don't Report? (2022 Conference on Forensic Psychology (National Chung Cheng University, Taiwan))		
2022/11/01	招待講演(国内)	浜井浩一	近畿弁護士連合会が主催する「近畿管内刑事施設視察委員交流会」において、これまでの刑務所処遇の成果について評価した上で、刑法改正による拘禁刑導入後の刑事施設のあり方について講演		
2022/11/20	招待講演(海外)	浜井浩一	Deviance and Norms in Times of Change in Japan, Social control under transformation (VSJF-Jahrestagung 2022, チューリヒ大学)		

0

▼2022年度集計

論文(国内)	23	→うち査読付き論文:0
論文(海外)	0	→うち査読付き論文:0
出版物(国内)	6	
出版物(海外)	0	
学会報告(国内)	2	
学会報告(海外)	3	
招待講演(国内)	4	
招待講演(海外)	2	
計	40	